

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	8,381	6,610
有価証券	127,256	135,042
有形固定資産	4,024	3,616
無形固定資産	5,988	7,272
その他資産	20,363	19,743
繰延税金資産	6,308	7,136
資産の部合計	172,323	179,422
負債の部		
保険契約準備金	133,246	142,129
支払備金	37,542	39,046
責任準備金	95,704	103,083
その他負債	8,339	5,567
未払法人税等	1,442	720
その他の負債	6,897	4,846
退職給付引当金	1,281	1,407
役員退職慰労引当金	44	34
賞与引当金	956	496
特別法上の準備金	149	170
価格変動準備金	149	170
負債の部合計	144,018	149,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	3,389	3,389
利益剰余金	2,586	4,918
株主資本合計	25,976	28,308
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,328	1,309
評価・換算差額等合計	2,328	1,309
純資産の部合計	28,305	29,617
負債及び純資産の部合計	172,323	179,422

四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
経常収益	72,776	75,944
保険引受収益	71,803	74,323
(うち正味収入保険料)	71,762	74,273
(うち積立保険料等運用益)	41	50
資産運用収益	952	1,595
(うち利息及び配当金収入)	981	994
(うち有価証券売却益)	12	650
(うち積立保険料等運用益振替)	41	50
その他経常収益	21	25
経常費用	68,952	70,948
保険引受費用	50,924	52,556
(うち正味支払保険金)	35,513	36,941
(うち損害調査費)	5,267	5,519
(うち諸手数料及び集金費)	1,123	1,212
(うち支払備金繰入額)	1,651	1,503
(うち責任準備金繰入額)	7,368	7,378
資産運用費用	4	-
(うち有価証券売却損)	4	-
営業費及び一般管理費	18,021	18,388
その他経常費用	2	4
経常利益	3,823	4,995
特別利益	-	-
特別損失	883	20
固定資産処分損	864	0
特別法上の準備金繰入額	19	20
価格変動準備金繰入額	19	20
税引前四半期純利益	2,940	4,975
法人税及び住民税	1,489	1,780
法人税等調整額	675	431
法人税等合計	814	1,348
四半期純利益	2,126	3,626

当四半期の損益状況

(単位：百万円)

期 別		前第 3 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年12月31日)	比較増減	増減率
科 目					
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		70,810	73,317	2,507	3.5 %
(元受正味保険料)		(70,810)	(73,317)	(2,507)	(3.5)
経	保険引受収益	71,803	74,323	2,520	3.5
	(うち正味収入保険料)	(71,762)	(74,273)	(2,511)	(3.5)
	保険引受費用	50,924	52,556	1,631	3.2
	(うち正味支払保険金)	(35,513)	(36,941)	(1,428)	(4.0)
	(うち損害調査費)	(5,267)	(5,519)	(251)	(4.8)
常	(うち諸手数料及び集金費)	(1,123)	(1,212)	(89)	(8.0)
	資産運用収益	952	1,595	642	67.5
	(うち利息及び配当金収入)	(981)	(994)	(13)	(1.4)
	(うち有価証券売却益)	(12)	(650)	(638)	(5,233.0)
	資産運用費用	4	-	4	100.0
損	(うち有価証券売却損)	(4)	(-)	(4)	(100.0)
	営業費及び一般管理費	18,021	18,388	366	2.0
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(17,966)	(18,346)	(380)	(2.1)
	その他経常損益	18	20	1	10.7
	経常利益	3,823	4,995	1,171	30.6
益	(保険引受利益)	(2,911)	(3,420)	(508)	(17.5)
	特別利益	-	-	-	-
	特別損失	883	20	862	97.7
特別損益	特別損益	883	20	862	-
	税引前四半期純利益	2,940	4,975	2,034	69.2
	法人税及び住民税	1,489	1,780	290	19.5
法人税等調整額	675	431	243	-	
法人税等合計	814	1,348	534	65.7	
四半期純利益	2,126	3,626	1,499	70.5	
諸比率	正味損害率	56.8%	57.2%	/	/
	正味事業費率	26.6%	26.3%	/	/

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。

2. 諸比率は次の算式によっております。

$$\text{正味損害率} = (\text{正味支払保険金} + \text{損害調査費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

$$\text{正味事業費率} = (\text{諸手数料及び集金費} + \text{保険引受に係る営業費及び一般管理費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種目	期別	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火災	災	259	0.4	26.1	170	0.2	34.4
海上	上	-	-	-	-	-	-
傷害	害	6,496	9.2	1.1	6,583	9.0	1.3
自動車	動車	64,053	90.5	4.5	66,563	90.8	3.9
自動車損害賠償責任		-	-	-	-	-	-
合計	計	70,810	100.0	4.2	73,317	100.0	3.5

正味収入保険料

(単位：百万円)

種目	期別	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火災	災	35	0.0	25.0	18	0.0	48.9
海上	上	36	0.1	64.3	2	0.0	106.8
傷害	害	6,721	9.4	1.2	6,811	9.2	1.3
自動車	動車	63,913	89.1	4.5	66,371	89.4	3.8
自動車損害賠償責任		1,055	1.5	6.1	1,074	1.4	1.9
合計	計	71,762	100.0	4.1	74,273	100.0	3.5

正味支払保険金

(単位：百万円)

種目	期別	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		
		金額	増減率	正味損害率	金額	増減率	正味損害率
火災	災	1	46.5	60.0	5	335.4	127.6
海上	上	122	48.3	337.3	9	107.6	-
傷害	害	1,838	7.2	30.5	1,919	4.4	31.2
自動車	動車	32,587	5.3	58.9	34,034	4.4	59.3
自動車損害賠償責任		963	4.9	91.3	991	2.9	92.2
合計	計	35,513	5.5	56.8	36,941	4.0	57.2

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	42,701	48,746
資本金又は基金等	24,682	28,308
価格変動準備金	149	170
危険準備金	91	98
異常危険準備金	14,363	16,720
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	2,910	1,636
土地の含み損益	-	-
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	502	1,812
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2+R_5+R_6}$	12,313	12,641
一般保険リスク (R ₁)	10,906	11,239
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	-	-
予定利率リスク (R ₃)	96	103
資産運用リスク (R ₄)	1,416	1,361
経営管理リスク (R ₅)	269	274
巨大災害リスク (R ₆)	1,033	1,032
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 $[(A)/\{(B) \times 1/2\}] \times 100$	693.5 %	771.1 %

注。「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条(単体ソルベンシー・マージン)および第87条(単体リスク)ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

なお、当第3四半期会計期間(平成28年12月31日)の単体ソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの基礎数値の一部を当中間会計期間(平成28年9月30日)と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

< 単体ソルベンシー・マージン比率 >

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。

保険引受上の危険 (一般保険リスク) (第三分野保険の保険リスク)	: 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く)
予定利率上の危険 (予定利率リスク)	: 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
資産運用上の危険 (資産運用リスク)	: 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
経営管理上の危険 (経営管理リスク)	: 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記 ~ 及び 以外のもの
巨大災害に係る危険 (巨大災害リスク)	: 通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(単体ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。